

2023年度 第4回神戸市障害者施策推進協議会 議事要旨

日時：2024年2月6日（火）15:00～16:40

場所：神戸市役所1号館14階 大会議室

○議題

第7期神戸市障がい福祉計画・第3期神戸市障がい児福祉計画の策定について

（資料3-1、3-2、4-1、4-2）

→事務局側より説明後、協議会で承認

【主な意見】

- ・今回のパブリックコメントで、すぐるを活用し、前回の計画時の4倍近い件数の意見をもらうことができたのはとても良い取組みだった。今後も続けていただきたい。
- ・災害時個別支援計画について、当事者や家族が情報を把握できる仕組みが必要。行政だけでなく、各事業所に協力を依頼し、フォローしてもらうのがよいのでは。
- ・福祉行政と教育行政の連携が重要。今回のパブリックコメントから引き続き、教育行政の福祉的なニーズについても積み上げていけば、福祉と教育の連携がより充実していくと思う。
- ・重度の障がいの方でも小・中学校を健常者と共に暮らすことで、社会に出てからもグループホームなど地域で生活できるのではないかと。地域移行には教育が重要になると思う。
- ・パブリックコメントで保護者も子ども達も大変な思いをしていると感じた。回答をホームページで示すだけでなく、対応ができるものは検討いただきたい。
- ・数値目標が国に準ずるだけでは不十分。もっと積極的な目標を持ってほしい。
- ・国や自治体の政策などの決定過程に、もっと当事者を入れてほしいという声がある。
- ・個別避難計画の目標数600件は大変だと思うが、達成していただきたい。状況に応じて引き上げることも考えてもらいたい。
- ・地域活動支援センターの運営は厳しいと聞く。市として制度の充実・改善を頑張ってもらいたい。
- ・在宅の人工呼吸器を使っている方や在宅酸素療法の方は大規模な停電が命に関わる。非常時に連絡がとれるように仕組みを作り、命に関わる方の避難を最優先で進めていただきたい。
- ・計画に追加された「障がい児入所施設に入所する児童が大人にふさわしい環境へ移行できるようにするための移行調整の協議の場の設置」について、小児医療から成人医療への移行の仕方を協議する場としても活用いただきたい。
- ・災害時の停電の際に、電気自動車など電源を保有している御近所同士で助け合える関係づくりにも取り組んでもらいたい。
- ・地域活動支援センターは精神障がいの方にとって、他のサービスに比べて敷居が低く利用しやすい。センターが近くにあり、利用しやすいことを維持できるよう検討いただきたい。
- ・入所施設からの地域移行という話があるが、まずは障がい者の自己決定支援が大事。入所施設の削減ではなく、本人の希望するサービスが選択できるように取組みを考えていただきたい。
- ・来年度報酬改定があり、国連からの勧告や要請に基づき法や制度、サービスが変わっていくと思う。それらの動向をしっかりと早く把握し、国の施策への対応も当然だが、神戸市独自の施策も考えてもらいたい。
- ・重度訪問介護の動向を見ることはとても大切。利用者数がなぜ変わらないのか、背景事情を分析しておく必要があると思う。

- ・国連から成年後見制度の不適切性について指摘されている。成年後見制度は意思決定支援と両輪で進める取組みであると思う。
- ・良い避難計画があっても、日頃から訓練をしておかないと駄目だと感じている。個別避難計画や福祉避難所がいざとなったときに機能するのか、前もって確認が必要。

○報告

令和4年度神戸市における障害者虐待の状況および対応について（資料2）

→事務局より説明

【主な意見】

- ・障害者虐待は繰り返すこともある。通報件数や認定件数に繰り返し計上されることは重篤さにもつながるので、個々の対応の中で、場合によっては保護をする慎重な取扱いになる。